

講師の遠山治彦医師



大阪民医連 医師による 医療安全大会を開催

大阪民医連の医師医療安全宣言

○ 前 文

医師は診療上の重要な意思決定を行う立場にあり、医師自身が行う手技は基本的に患者さんの身体に傷を与えるものです。そのため医師が関わる医療事故は、他職種の仲間が関わる医療事故に比べて患者さんに大きな障害を与えます。

ベテランで思慮深い医師であってもミスを起こしてしまうこと、また、手術などには一定の確率で合併症がおこり、それは避けることができないこと、医師一人で安全な医療は実現できず、患者さんを含めた医療チームの協力があって初めて実現できること、を私たちは知っています。そして、患者さんや他職種の仲間からは「寛容さや謙虚さが無く、問題があっても指摘しにくい医師もいる」と言われていることを、私たちは真摯に受け止めなければなりません。

私たちは医師の専門性にかけて、自分の患者さんを「安全に」より良い状態にしたいと強く願っており、またそれを実現して行く責任があります。医師として医療安全を推進するために、私たちは、自分自身、同僚の医師、患者さんご家族、他職種の仲間に対して、以下のことを宣言します。

○ 宣 言 (抜粋)

1. 私たちは、自らが行う医療行為の一つ一つが危険を伴う行為であり、通常の投薬ですら重大な副作用を引き起こし得ることを認識します。そして、患者さんに危害を加えてしまう可能性を常に想像しながら、慎重に正確に医療行為を行います。
3. 私たちは、患者さんやご家族が納得のいくまで、医療行為の内容について説明を行います。それでも患者さんやご家族には伝わらない部分があることも認識し、何度でも分かりあうための努力を行います。
7. 私たちは、経験の上下に関わらず、同僚の態度や行為に疑問を感じた時には積極的に指摘します。また、同僚や他職種の仲間から問題点を指摘された場合には、謙虚にそれを受け止めて、自らの態度や行為を改善します。

2014年11月29日
大阪民医連医師医療安全大会

11月29日、おそろく全国的にも初めての医師による医療安全大会を、大阪民医連の医師中心に46人の参加で開催しました。

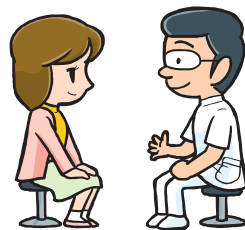
基調報告では耳原総合病院の田端副院長より「医療安全における医師の役割や重大性を認識する大切さ」を、一般演題では3病院1診療所より、事例紹介や多職種連携によるチーム医療について講演頂きました。

記念講演では東神戸病院の遠山治彦副院長から「医療安全の基礎、チーム医療における医師の役割と心構え、医療安全における患者との連携」をお話しいただきました。

最後に、診療に関わる上での心構えや行動目標などが盛り込まれた、大阪民医連の医師医療安全宣言が採択されました。

宣言された内容を、それぞれが意識し日々の診療に活用していきます、医師だけでなく全ての職員が

力を合わせ、チームで患者様を医療事故から守り、安全・安心の医療提供をめざして、頑張りたいと思います。



全日本民医連 記念文化事業

青ひげ先生の 聴診器

青年劇場

いのちをみまもる
あたたかい目がそこにある



公演日時

2015年 2月25日(水)
17時30分開場 18時開演
森之宮ピロティホール

料金 一般 3500円
友の会会員 2500円
高校生・泉州看護専門学校学生 1500円

問い合わせ先
同仁会本部 組織部 TEL 072-244-8061

熱心に話を聞く参加者



安部誠治先生の資料より

安全文化の発展段階

1. 安全は規則に基づく (規則の遵守に力点を置く組織)
2. 安全が組織の目標と考えられる (安全目標の計画と達成に力点を置く組織)
3. 安全は常に改善できる (継続的改善に力点を置く組織)

学習講演では、関西大学安部誠治先生(社会安全学部教授)に「ヒューマンエラーと事故防止」と題して、会社等の組織での事故(組織事故)と、その防止の観点でお話しいた

安部先生は、運輸をはじめ、国の様々な安全委員を歴任。それらの活動の知見から、組織事故の減少のためには、「絶対安全」はないことを前提に、責任追及型や規則遵守重視型でなく、過去の失敗事例から学ぶ姿勢、相手との人間関係を図り、相手の立場に立った対応をすることで、安全向上へ不断の改善に取り組む組織が、成果を上げていくことを強調されました。

法人報告として木野産業保健師より、医療機関全般と同仁会内での医療事故の発生状況、ヒューマンエラーの背景と考えられる、メンタルヘルスや長時間労働の発生動向、健診の取り組みについて報告を受けました。

出席者の感想からは、「一人間の意識には限界があることを知り、職場で疑問に感じたことは、何でも話し合えるような人間関係づくりが大切だと学べた」とあり、職場でのコミュニケーションが、スムーズにできるような環境づくりが、事故防止への第一歩だと、あらためて確認できた報告会となりました。

同仁会 医療・介護安全推進月間報告集会

医療におけるヒューマン エラーを考える

12月18日、「医療・介護安全推進月間報告集会」を、112人の参加で行いました。今年度は「ヒューマンエラー」をキーワードに開催しました。